

【社会】

＜学習内容＞「日本の歴史」教科書「歴史編」

◆「歴史学習の基本をおさえよう」（教科書2～7ページ）をもとに、歴史学習の見通しを立てよう。

- (1) 時代を表す方法が3つ「世紀・西暦・時代（元号）」あります。自分が生まれた年を3つの表し方で書いてみましょう。

【世紀】〇〇世紀 【西暦】〇〇〇〇年 【元号】〇〇年

- (2) 歴史を学ぶときに「いつ・だれが・どのようなことを・何のために」したのかを調べたり考えたりすることはとても大切です。

教科書7ページの資料^{とうだいじ}東大寺の大仏づくり（752年）は「いつ・だれが・（東大寺の大仏を）・何のために」つくったのでしょうか。うでだめしに、教科書で調べてみましょう。

◆「縄文のむらから古墳のくにへ」（教科書8～9ページ）をもとに、縄文時代のくらしについて、それぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 縄文時代のくらしについて「住居・道具・食べ物」の3つの視点でまとめましょう。

- ・【住居】……何という家で、何を使ってつくっていましたか。
- ・【道具】……何という道具をどのような材料でつくっていましたか。
- ・【食べ物】…どのようなものをどのように食べていましたか。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・歴史の学習は知識を暗記することがすべてではありません。学習で得た知識を活用し、それをもとに考えることが大切です。
- ・教科書には、グラフや写真、年表、地図などの資料がたくさん載っています。知識とそれらの資料から分かる事実を結び付けて「いつ・だれが・どのようなことを・何のために」したのか調べて考えるようにすると、歴史への興味関心を広げることにつながります。

※5/11～15、5/18～22、5/25～29の学習課題の解説動画をそれぞれの週の学習課題ページに公開中ですので、ご覧ください。